

平成 28 年度

# 事業報告書

社会福祉法人 南 幌 苑  
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園  
共同生活援助・共同生活介護 ハイツ ひまわり

— 目 次 —

- ・ 社会福祉法人南幌苑本部 . . . . . P 1 ~10
- ・ 南幌めぐみ学園 . . . . . P11~14
- ・ GHハイツひまわり . . . . . P15~18
- ・ 関係資料 . . . . . P19~35

## 1. 法人の事業運営

社会福祉法人制度改正が、平成28年度から平成29年度に施行となり、公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、福祉サービスの供給体制の整備及び充実が図られ、経営組織のガバナンス（統治統制機能）強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等の改革が進められたとともに、介護人材の確保を推進するために介護職員処遇改善加算の見直しの措置が行われた。

法人としても役職員の研修を実施し、制度改正に伴う準備を行い、12月に定款変更申請、道認可を受け、理事会・評議員会の経営組織の在り方についても理解を深め、評議員選任解任委員会を新たに設置し、平成29年4月運営開始に向けて、新組織体制の準備を進めた。また、財務規律の強化も求められ、法改正に伴う経理規程の一部改正を行い、平成28年度決算より再投下可能財産（社会福祉充実残額）を明確にして、社会福祉充実計画を策定することが求められ、既存事業の充実や新たな取組について準備を進めた。

平成25年6月に「障がい者差別解消法」が成立し、平成28年4月に施行され、福祉サービスを提供する事業所として、日頃から外部研修会参加、内部研修開催により障がいに関する理解や障がい者の虐待をはじめ人権・権利擁護に関する認識を深めるとともに、毎月、毎日の職員個々の業務振り返りチェックシートの活用し、より高い意識と行動規範をもって障がいを理由とする差別を解消するための取組みを継続した。

また、全国的に障がい者への虐待に係る報道が止まることなく続き、当法人でもご利用者への支援の充実のため、職員研修として講演会の開催や社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体の開催する多くの外部研修への参加、法人内施設研修の実施等、職員の意識の向上、スキルアップに努めた。

役員研修として、8月に先駆的な経営を行っている月形町の社会福祉法人雪の聖母園を視察し、就労支援における事業の展開や経営について学び、上坂常務理事（現月形町長）より社会福祉法人制度改正について研修を受けた。11月には、制度改正に伴う法人経営について、北海道保険補償、石山代表取締役から講義を受け、これからの社会福祉法人の在り方等について学んだ。

今後も、法人として地域住民やご利用者、ご家族から親しまれる地域に根付いた法人であることを目指し、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努める。

## ・重点事業実施状況

### 1) 役員研修

#### ○法人役員視察研修

- ・平成28年8月22日 役員5名、事務局1名  
月形町 社会福祉法人 雪の聖母園 常務理事 上坂隆一氏  
社会福祉法人制度改正について  
施設概要・生産活動支援等について
- ・平成28年11月4日 役員7名、事務局2名（役員室）  
講演「改正社会福祉法の概要と経営対応」  
講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏

### 2) 職員研修

#### ○施設内研修

- ・平成28年6月17日 救急救命講習  
講師 南幌消防署員2名 全職員
- ・平成28年7月23日  
講演「障害者の虐待防止について」  
講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏  
講演「北海道における虐待発生の事案について」  
講師 北海道知的障がい福祉協会副会長 上坂隆一氏
- ・平成28年11月9.11.13日 感染症予防実技研修会（演習）

#### ○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会等に参加し、職員の資質向上に努めた。

### 3) 規程等の制定・改正

- ・定款変更 … 平成29年4月一部改正
- ・評議員選任・解任委員会運営細則 … 平成29年4月制定
- ・定款細則 … 平成29年4月一部改正
- ・経理規程 … 平成29年4月一部改正
- ・給与規程 … 平成29年4月一部改正
- ・各事業運営規程 … 平成29年4月一部改正

### 4) 大規模修繕工事

- ・ハイツひまわり 外壁塗装工事
- ・めぐみ学園 体育館外部塗装工事
- ・めぐみ学園 居室改修工事（7室）
- ・めぐみ学園 玄関サッシ改修工事

## 5) 補助事業

- ・ J K A福祉車両の整備補助事業  
日産セレナ福祉車両 1 台
- ・ 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業  
作業機器 (手袋編み機)
- ・ 国庫補助事業  
防犯設備取付工事  
本館 (防犯カメラ 2 台、人感センサー11 台)  
ふれあい棟 (防犯カメラ 1 台、人感センサー6 台)

## 6) 地域における社会貢献の取り組み

- ・ 職員、ご利用者による学園周辺、地域周辺の道路清掃
- ・ 職員、ご利用者による高齢者世帯の除雪
- ・ 南幌町や高齢者施設への干支のウッドパズル等の寄贈

## ・ 実施事業

### ○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名	(現員49名)
	生活介護支援事業	60名	(現員55名)
	就労継続支援B型	10名	(現員7名)

### ○短期入所事業 (併設) 定員 5名

### ○共同生活援助事業所 ハイッひまわり

定員 5名

### ○日中一時支援事業 定員 5名

## 2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

平成 28 年度においては理事会 7 回、評議員会を 4 回開催し、監事による実施監査を 4 回受けた。

### 1) 理事会

開催年月日	会議内容
平成 28 年 5 月 25 日	<p>第 171 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 27 年度法人及び施設事業報告について</p> <p>議案第 2 号 平成 27 年度社会福祉事業会計の決算報告について</p> <p>議案第 3 号 「平成 28 年度福祉車両の整備補助事業」オートレース公益資金による補助金交付決定について</p> <p>議案第 4 号 平成 28 年度社会福祉事業会計の補正予算案について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 27 年度第 4 回（決算）内部監査結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
8 月 10 日	<p>第 172 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 「平成 28 年度福祉車両の整備補助事業」業者選定入札執行について</p> <p>議案第 2 号 役員視察研修について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 28 年度第 1 回内部監査（6 月末）の結果報告について</p> <p>2) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成申請について</p> <p>3) 表彰被候補者の推薦について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
12 月 9 日	<p>第 173 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 定款の一部変更につ</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 28 年 12 月 9 日	<p>いて</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑評議員選任・解任委員会運営細則制定について（案）</p> <p>議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑評議員選任・解任委員会委員の選任について（案）</p> <p>議案第 4 号 南幌めぐみ学園 居室改修工事について</p> <p>議案第 5 号 南幌めぐみ学園 玄関サッシ改修工事について</p> <p>議案第 6 号 南幌めぐみ学園 南側外壁塗装工事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 28 年度第 2 回（9 月末）内部監査結果報告について</p> <p>2) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成結果について</p> <p>3) 職員採用について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
平成 29 年 1 月 20 日	<p>第 174 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 次期評議員候補者の推薦について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 28 年度第 3 回内部監査（12 月末）の結果報告について</p> <p>2) 社会福祉法人南幌苑 定款変更認可について</p> <p>3) 共同募金「施設活動支援事業」申請について</p> <p>4) 2016 年度 日本財団福祉車両助成事業申請に対する審査結果について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 次期理事会の開催日程について</p>
2 月 8 日	<p>第 175 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 理事の辞任について</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑 理事の選任について</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 29 年 2 月 8 日	2. 報告事項 1) 社会福祉法人南幌苑 評議員の選任について 3. その他 1) 次期理事会の開催日程について
3 月 20 日	第 176 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 平成 28 年度社会福祉事業会計補正収支予算(案)について 議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉法人南幌苑事業計画(案)について 議案第 3 号 平成 29 年度社会福祉事業会計収支予算(案)について 議案第 4 号 社会福祉法人南幌苑 定款細則の一部改正について 議案第 5 号 社会福祉法人南幌苑 経理規程の一部改正について 議案第 6 号 社会福祉法人南幌苑 給与規程の一部改正について 議案第 7 号 社会福祉法人南幌苑 事業別運営規程の一部改正について 議案第 8 号 旧南幌幼稚園建物・土地の購入について 議案第 9 号 平成 29 年度職員採用及び人事について 2. その他 1) 次期理事会の開催について
3 月 26 日	第 177 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 故澤田一清理事長の葬儀の執行について 2. その他



## 2) 評議員会

開催年月日	会議内容
平成 28 年 5 月 25 日	第 37 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 平成 27 年度法人及び施設事業報告について 議案第 2 号 平成 27 年度社会福祉事業会計の決算報告について 議案第 3 号 「平成 28 年度福祉車両の整備補助事業」オートレース公益資金による補助金交付決定について 議案第 4 号 平成 28 年度社会福祉事業会計の補正予算(案)について 2. 報告事項 1) 平成 27 年度第 4 回内部監査(決算)の結果報告について 3. その他 1) 次期評議員会の開催日程について
12 月 9 日	第 38 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑定款の一部変更について(案) 議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑 評議員選任・解任委員会運営細則の制定について(案) 2. 報告事項 1) 平成 28 年度第 2 回内部監査(9 月末)の結果報告について 2) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成結果について 3. その他 1) 次期評議員会の開催日程について
平成 29 年 2 月 17 日	第 39 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 理事の退任について 議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑 理事の選任について

開催年月日	会 議 内 容
平成 29 年 2 月 17 日	2. 報告事項 1) 社会福祉法人南幌苑 次期評議員の選任について 2) 平成 28 年度第 3 回内部監査 (12 月末) の結果報告について 3) 社会福祉法人南幌苑 定款変更認可について 3. その他 1) 次期評議員会の開催日程について
3 月 20 日	第 40 回評議員会 1. 議事 議案第 1 号 平成 28 年度社会福祉事業会計収支予算(案)について 議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉法人南幌苑事業計画(案)について 議案第 3 号 平成 29 年度社会福祉事業会計収支予算(案)について 2. その他 1) 次期評議員会の開催日程について

### 3) 監事監査

開催年月日	会 議 内 容
平成 28 年 5 月 20 日	平成 27 年度第 4 回内部監査 (決算)
7 月 22 日	平成 28 年度第 1 回内部監査 (6 月末)
10 月 25 日	平成 28 年度第 2 回内部監査 (9 月末)
平成 29 年 1 月 16 日	平成 28 年度第 3 回内部監査 (12 月末)

#### 4) 評議員選任解任委員会

開催年月日	会 議 内 容
平成 29 年 1 月 25 日	評議員の選任について

#### 5) 空知総合振興局による指導監査

- 1) 障がい者支援施設 南幌めぐみ学園  
平成 29 年 2 月 23 日提出 書面審査  
指摘事項なし



# 平成28年度 南幌めぐみ学園事業報告

## I 概況

### 1. 運営概況

#### 1) 運営全般

障害者差別解消法が施行され、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることをめざし、互いに人格と個別を尊重し合いながら共生する社会の実現を資することが目的とされたことを考慮し、利用者個々の気持ちを十分理解しながら支援してきた。

日中活動支援はこれまで通り就労生活支援センター「かよえ〜る」を拠点として利用者の活動範囲を広げ、施設入所支援の生活リズムを整えることが定着できた。

行事関連においては、ご利用者やご家族・地域ボランティアの参加とご協力を得て、スポーツ大会・学園祭等の行事を実施した。

他に南幌町のイベントや空知知的障がい福祉協会の各種イベント・大会にも積極的に参加し、また、空知地区利用者卓球大会を南幌で開催し総勢58名が参加された。

また道外宿泊旅行は、名古屋方面へ行き総数25名が参加、さらに道内宿泊研修旅行は北湯沢温泉第二名水亭に宿泊、総数90名が参加された。その他各行事への多くの参加を通して相互に意見・情報交換することができた。

#### 2) ご利用者の動向

①ご利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

## II ご利用者支援

### 1. 障がい者支援サービス

#### 1) 施設入所・通所支援

日中活動としてはご利用者一人ひとりの生活ニーズやライフステージに合わせ、意思決定支援(意向・思い)を含め、個別支援計画に基づいた福祉サービスを提供してきた。

日中活動では「かよえ〜る」を中心に活動範囲を広げ、戸外に出る機会により日々の生活リズムを定着させる事ができた。居室の利用では、入口をバリアフリーにして生活しやすい環境づくりを行った。また、年齢や障がいの程度・相性などによる住み分けや地域生活移行(グループホーム他)を目指しての生活支援に取り組んだ。ご利用者個々の支援については個別支援計画にそって定期的にモニタリングをおこない、共通認識のもと、その時々状況に合わせた支援を行った。

#### 2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化・重度化の流れの中で自閉症・自閉傾向の障がいの重い人や強度行動障がい(パニック等)・身体障がいとの重複障がいにおいて、リハビリ訓練やストレッチ、ウォーキングなど身体機能維持・体力増進に向けて行なってきた。

生活訓練科は創作活動で和紙工芸や縫製品の制作及び、軍手制作に取り組み、南幌町内外のイベント、元気ショップいこ〜る(札幌市)にて販売し、絵画や貼り絵等の作品

は展示会に出展した。また広教資材（町内）からの下請け作業など軽作業を行ないながら、日常生活に必要な訓練・支援（歯磨き・ひげそり・整容・洗濯・整理整頓等）を個別に取り組んできた。

紙器加工科は通年で下請け業者（ポロトナ、北辰フーズ、ベイクド・アルル）からの箱折り各種・菓子詰めなどの委託作業を行ない、継続してきた。

農産科は前期は畑作業（じゃがいも・ミニトマト・豆類・かぼちゃ等の栽培）と環境整備、また、町からの委託作業のペットボトルのキャップ回収など取り組んできた。収穫した農産物は、食事の中で提供したり、セブンイレブンに出荷・販売をした。

### 3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、継続して以前からの長期実習先であるスリービーに4名が自立生活を目指して実習に取り組んだ。

セブンイレブンのごみ分別委託作業には、女子1名が取り組んだ。

それぞれに何らかの課題は残るものの「働くこと」を通して、厳しさを学び社会生活能力を養ってきた。

菓子工房もぐもぐは3名が手作りクッキーなどの焼き菓子づくりとコーヒーの宅配サービスを行なった。手作りクッキーは各イベントやセブンイレブンにて販売された。

### 4) 余暇支援

余暇活動ではご利用者の年齢や身体状況・嗜好やニーズを十分考慮し、南幌町内のイベントや近隣の他施設の行事や催事などに積極的に参加した。

またスポーツ大会では保護者ご家族との交流だけでなく、地域の方々・ボランティアの方々との交流を深めることができた。

園内では、焼肉パーティー・餅つき・忘年会・新年会・節分などの季節の行事を行ない、土日には体育館でゲーム、カラオケなどを楽しんだり、散歩に出掛けたりした。

道外宿泊旅行は名古屋方面へご利用者12名、ご家族9名、職員4名が参加し、さらに道内宿泊研修旅行は北湯沢温泉第二名水亭に宿泊、ご利用者47名・ご家族22名・職員21名の90名が参加した。

スポーツ活動では、南幌町福祉スポーツ大会に参加し、ソフトボール・パークゴルフ・卓球等の種目で空知知的障がい福祉協会の大会に参加した。また札幌ドームでのティーボール大会では、利用者18名、家族11名が応援に駆け付けて競技に参加した。

### 5) 苦情解決

ご利用者からの苦情は常設の投書箱にて随時受け付けると共に、日常的にも個々のご利用者の訴えをよく聞き、その悩みや相談、抱えている問題に関し職員が共に認識をもつよう努めた。今年度は投書による苦情受付はなかった。

職員には「人権侵害ゼロへの誓い」署名を実施し、虐待防止や権利擁護について、研修会を開催したり、各種会議でも繰り返し周知徹底を図っている。

### 6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診・女性は希望により乳がん子宮がん検診を実施。日常の健康管理に関しては町立病院や北広島メンタル

クリニック主治医（穴澤医師）による問診のほか、看護師が体調確認、個別面談を行った。毎月の身体・血圧測定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排泄確認が必要な方は個々に記録を報告した。高齢化や重度化などの要因に伴い、通院回数は増加している。

今年度もインフルエンザ予防接種を全員が受け、重篤化しないための感染予防に努めた。また、感染症予防対策委員会を随時開催し、園内の清掃消毒、さらに手洗いの励行など予防対策を強化し、毎日欠かさず実施した。ノロウイルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具を園内2か所に設置し、嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を実施した。毎月の生活懇談会でご利用者に医療の指導を行い、病気や健康への配慮を促した。

## 7) リスクマネジメント

ご利用者の事故については、無断外出があったがすぐ対応して早期に発見保護しており、その後も、見守りの強化を図っている。転倒・ご利用者同士のトラブルによるケガ・破損事故が見られている。転倒事故の要因としては年齢や歩行機能低下によるものである。ご利用者同士のトラブルについては、情緒障がいの特徴である他者への攻撃性に起因するものでありご家族や医師と相談のうえ対応している。破損事故については特定のご利用者に限られているが、その多くはストレスが要因となっていると思われ、人間関係・生活環境の整備を行っている。ヒヤリハットとして報告し予防策や未然に防ぐための会議をその都度行なった。

（平成28年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 3件）

## 8) 栄養管理・給食

毎年1回のご利用者嗜好調査（アンケート）のほか、月例の給食会議の中でご利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果から、ご利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、療養食や嚥下に配慮するなど適切に提供し毎月の生活懇談会でご利用者に栄養指導を行った。誕生膳や季節ごとの行事食の他、選択メニューの強化、ご利用者の目の前で調理を行うライブキッチンなど積極的に行なった。

## 9) 環境整備・防災

ご利用者が日々快適で安全な生活を送ることが出来るように、修繕や前庭等の整備と居住環境及び周辺的生活環境の整備に努めた。

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回の避難訓練とご利用者と共に防災点検を実施した。春4月と秋10月に南幌消防署員立ち会いで総合避難訓練を実施し、地震想定・夜間想定にも取り組んだ。6月には救命救急講習を行い緊急時対応に備えた。

## 2. 対外業務

### 1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、大学や専門学校を中心に保育・福祉分野の実習生を積極的に受け入れ、次代を担う人材の育成に寄与した。

ボランティアに関しては、定期的訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団

体、音楽や文化のボランティアサークル、個人の学生ボランティア等の受け入れを継続して行ってきた。

○福祉実習生受け入れ	北海道介護福祉学校	3名
	北海道ハイテクノロジー専門学校	2名
	南幌中学校職場体験	2名
	南幌高校インターンシップ	2名

○ボランティア受け入れ 延べ人数97名

## 2) 養護学校実習の受け入れ

学校関係者と連携し、養護学校中学部・高等養護学校の現場実習を受け入れた。

○現場実習生受け入れ 南幌養護学校中学部3年6名

## 3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は8月・1月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外のご利用者ご家族や関係機関にも郵送している。「学園の近況について」を保護者に発送し、学園の取り組み状況のお知らせを行った。

## 3. 管理業務関連

### 1) 職員研修

障害者総合支援法関係の研修会や行政説明に役職員が参加し、情報収集に努めた。その他、職員の経験年数や職務内容を考慮し、北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会や支援の実践に関する研修に参加し、援助技術や知識の習得と情報の収集に努めた。

※資料「事業実施経過」参照

### 2) 年間行事

概ね例年通りの日程内容で行事を実施した。

※資料「事業実施経過」参照

## Ⅲ その他の事業報告

### 1. 短期入所事業・日中一時支援事業

#### 1) 概況

在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして、短期入所事業と日中一時支援事業を継続して行った。

#### 2) 利用状況

短期入所利用は他に2～3泊の定期利用が5名いた。

日中一時支援利用については児童の低年齢化・障がいの重度化などによりマンツーマン対応による支援を行ってきた。職員配置の面では厳しい状況もあり社会的責任という視点から継続して受け入れてきた。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照



## 平成28年度 GHハイツひまわり 事業報告

プライバシーの尊重と自由時間の確保、一人ひとりの生活リズムに合わせながら、多様なニーズに対応していけるよう世話人と協力しながら支援体制を整えることができた。

今年度はテレビ・洗濯機・IHクッキングヒーター・炊飯器・ボイラーを購入しておりより一層充実した生活を送ることができた。

また町内会行事にも積極的に参加され町内の方々と交流を図ることができた。

### ○家事への取り組み

週末（土・日）の食事は当番を決め、自分たちでメニューを考案、調理されていた。急な用事で当番を交代しなければならない場面もあったが他のメンバーが交代を快く引き受けてくれたためトラブルごとは一切みられなかった。またメニューのバリエーションも少しずつ増えており夏場には自分たちの畑で収穫した新鮮野菜を使い食事の献立の中に取り入れた。

誕生日などは誕生者本人の好みのメニューを献立に取り入れてもらい、時々外食や宅配なども楽しんでいた。

### ○清掃

共同スペースの当番はみんなで話し合っ決めてスムーズに行うことが出来ており世話人には清掃の再確認と不十分なところの清掃を一緒におこなってもらっていた。

自室の清掃は基本毎日おこなうこととなっているが週に一度清掃日を設け、出来る部分は自分で清掃、清掃が苦手なご利用者は世話人と一緒に取り組み清潔を心がけていた。

### ○対人関係

お互いを知り、慣れてくることによって仲間への不満や指摘事は多くなってくるものであり職員がいる時といない時で態度が異なる場面は時々見られていた。不満不平が聞かれた場合には世話人や支援員がご利用者の話を聞きだし早期解決に努めていた。

親しくなってきたゆえに甘えやわがままもでてきており、互いの性質や性格を理解していけるよう働きかけつつ、みんなの意見を聞く等話し合いの機会を設けた。

また時々職員同行のもと買い物・カラオケ・外食などで気分転換を図り、親睦を深めることができていた。

### ○地域活動への参加と関わり

隣人の方々と挨拶を交わし町内会の花壇整備など活動には積極的に参加、地域の方々と顔を合わせ交流を図ることができた。また、楽しみの一つになっていたようだ。

冬の除雪時期は声を掛け合いながら取り組み自分達でやらなければならないことの一つとして認識していた。時々、隣人のご協力でスムーズに除雪を行うことができていた。

### ○健康管理

体調管理をしっかりおこなうよう努めていたが季節の変わり目や疲労がたまってくると体調を崩す利用者がみられていた。年齢的に無理のできない体になりつつあるため食事と休息はしっかりとるよう努め、規則正しい生活を送るよう働きかけた。また、町内に室内プールができ2名のご利用者で利用。歩行訓練や体を動かす機会を提供することで健康な生活を送る事ができた。

外出後は必ず手洗いうがいを行ない外部から病気を持ち込まないよう働きかけていたため早期予防、早期通院で対応できていた。

今年度は4回の健康教育を取り入れ栄養士から嗜好品についてのお話があり再度食生活の見直しができるきっかけとなった。次年度も年4回の健康教育を組み込んで行く。

## ○避難訓練

今年度は3回の避難訓練（地震想定を含め）をおこない消防署への通報訓練と避難場所の再確認をしている。

### 1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）  
世話人 1名（専任） 生活支援員 3名（兼務）  
※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援を行った。

### 2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

### 3. 利用者（定員5名）

平成29年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	50歳	3
Bさん	江別市	女	63歳	3
Cさん	長沼町	女	42歳	2
Dさん	当麻町	女	48歳	2
Eさん	小樽市	女	47歳	3

### 4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
平成28年 4月 12日 ～15日	道外宿泊研修旅行（鎌倉・伊勢・鳥羽） 5名参加
19日	定期健康診断
5月 28日	町内会 花壇花植え 3名参加
31日	花見 焼き肉（めぐみ学園前庭にて）
7月 3日	めぐみ学園 スポーツ大会（めぐみ学園かよえ～るグラウンドにて）
9日	町内会 花壇草取り 3名参加
17日	空知知的障がい福祉協会ソフトボール大会 1名参加
9月 4日	空知知的障がい福祉協会パークゴルフ大会 2名参加
25日	めぐみ学園 学園祭（めぐみ学園体育館にて）
10月 17日 ～18日	道内宿泊研修旅行（名水亭）

開催年月日	主たる事業の内容
11月 6日	テニール北の甲子園大会（札幌ドーム） 2名参加
	8日 定期健康診断
12月 15日	忘年会（めぐみ学園にて）
	24日 ハイッひまわり クリスマス会
平成29年	
1月 12日	新年会（めぐみ学園にて）
	29日 ハイッひまわり 避難訓練実施
3月 25日	ハイッひまわり 避難訓練実施



## 資 料

1. 事業実施経過
2. 職員の配置
3. 利用者の状況
  - (1) 月別在籍者状況
  - (2) 入退所者状況
  - (3) 利用者年齢調
  - (4) 利用期間調
  - (5) 利用者出身市町村調
  - (6) 障害状況
  - (7) 面会状況
  - (8) 外出状況
  - (9) 外泊状況
4. 短期入所・日中一時支援
  - (1) 短期入所利用状況
  - (2) 日中一時支援利用状況
  - (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

## 1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
平成 28 年	
4 月 1 日	開設記念日
12～15 日	道外研修旅行 鎌倉・伊勢・鳥羽方面 利用者 12 名 家族 9 名 職員 4 名 計 25 名
14 日	補助事業事務手続き説明会 東京都 事務員 1 名
19 日	平成 28 年度前期健康診断 利用者・夜勤職員
21 日	岩見沢清丘園開設 60 周年記念式 総合施設長
25 日	安全運転管理者協議会南幌支部 総会 事務員 1 名
5 月 2 日	日帰り社会学習 北海道三井グリーンランド 岩見沢市 利用者 45 名 職員 20 名
5 日	めぐみ会定期総会 体育館
6 日	環境整備（地域貢献）かよえ～る周辺、南 13 線周辺
13 日	安全運転管理者法定講習 栗山町 事務員 1 名
17～18 日	北海道知的障がい福祉協会総会・全道施設長セミナー 札幌市 総合施設長
19 日	北海道ソーシャルワーカー協会総会 総合施設長
30 日	北海道ハイテクノロジー専門学校 実習 2 名 ～6/25
31 日	花見焼肉パーティー
6 月 1 日	施設職員スキルアップ講座 札幌市 支援員 1 名
2 日	南幌高校インターンシップ 2 名 ～6/3
5 日	空知職員交流野球大会

開催年月日		主たる事業の内容
6月	15日	職員共済会通常総会 札幌市 総合施設長
	17日	救命救急講習会 体育館 消防署員2名 職員20名
	20～21日	北海道知的障がい福祉協会支援員研修 札幌市 支援員1名
	22～23日	強度行動障がい養成研修 札幌市 支援員1名
	23～24日	全国施設長会議 神奈川県 総合施設長
	26日	空知の風祭 岩見沢市 総合施設長
7月	30～1日	北海道社会就労センター施設長研修会 札幌市 総合施設長
	1日	北海道介護福祉学校実習3名 ～7/8
	3日	第29回スポーツ大会 かよえ～るグラウンド
	6～7日	全国福祉施設士セミナー 東京都 総合施設長
	12日	空知知的障がい福祉協会職員研修会 美唄市 栄養士
	17日	空知ソフトボール大会 美唄市 利用者11名 職員7名
	20日	社会福祉改正実務者研修 北広島市 総合施設長
	23日	リスクマネジメントセミナー 体育館 職員全員 「障害者の虐待防止について」 講師 株式会社 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠 様 「北海道における虐待発生事案について」 講師 北海道知的障がい福祉協会副会長 雪の聖母園 常務理事・統括管理者 上坂 隆一 様

開催年月日	主たる事業の内容
7月 24日	日ハム野球観戦 札幌ドーム 利用者4名 職員2名
25～27日	障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成講座 札幌市 支援員1名
26日	権利擁護セミナー 札幌市 支援員1名 支援員1名
8月 2～3日	てんかん基礎講座 東京都 看護師1名 支援員1名
5日	施設等栄養業務担当者研修 岩見沢市 栄養士
6日	空知物産展 砂川市 利用者2名 職員3名
17日	給食施設等管理者研修 総合施設長
21日	岩見沢清丘園出店販売 岩見沢市 総合施設長 利用者2名 職員2名
3日	第29回スポーツ大会 かよえ～るグラウンド
25～26日	防火管理者講習 岩見沢市 事務員1名
27～28日	全道施設野球大会 旭川市 職員1名
31日	施設職員スキルアップ講座 札幌市 支援員1名
9月 1日	防災訓練（非常食炊き出し） 体育館
4日	空知知的障がい福祉協会パークゴルフ南大会 岩見沢市 利用者12名 職員5名
7～9日	全国知的障がい福祉関係職員研究大会 札幌市 総合施設長 支援員2名
〃	相談支援従事者基礎研修 札幌市 支援員1名



開催年月日	主たる事業の内容
9月 13～16日	南幌養護学校中等部現場実習 6名
15日	南空知圏域感染症予防研修会 岩見沢市 栄養士 看護師
24日	雪の聖母園祭出店販売 月形町 総合施設長 利用者2名 職員2名
25日	第29回南幌めぐみ学園祭
10月 3～4日	経営協人材マネジメント講座 総合施設長
7日	札幌馬主協会目録贈呈式 札幌市 総合施設長 事務員1名
9日	ボランティアフェスタなんぼろ出店販売 総合施設長 利用者2名 職員2名
15日	えぼフェスタ 総合施設長
17～18日	道内宿泊研修旅行 北湯沢温泉 家族22名 利用者47名 職員21名 計90名
19日	空知総合振興局集団指導 総合施設長 事務員1名
〃	南幌町成年後見制度講演 支援員1名
21日	北海道ソーシャルワーカー協会役員会 札幌市 総合施設長
27日	職員共済会業務説明会 旭川市 総合施設長 事務員2名
30日	空知知的障がい福祉協会卓球南大会 南幌町 総合施設長 利用者8名 職員12名

開催年月日		主たる事業の内容
11月	6日	ティーボール北の甲子園大会 札幌市 総合施設長 家族 11名 利用者 18名 職員 8名 計 38名
	〃	空知知的障がい福祉協会栄養士研修会 月形町 栄養士
	8日	平成 28 年度後期健康診断
	12日	南養祭出店販売 総合施設長 利用者 1名 職員 2名
	15日	北海道知的障がい福祉協会災害対策検討委員会 札幌市 総合施設長
	16日	地域支援スタッフ研修会 岩見沢市 支援員 1名 世話人 1名
	17～18日	権利擁護伝達研修会 沼田町 支援員 1名
	〃日	道央知的障がい福祉協会職員研修会 北広島市 支援員 1名
	18～19日	全国就労支援部会全国大会 福岡県 総合施設長
	21日	社会福祉法改正緊急経営セミナー 札幌市 総合施設長 事務員 2名
	28～29日	北海道福祉施設士会ブロックセミナー 札幌市 総合施設長
	30日	加齢化支援医療栄養研修 札幌市 栄養士 看護師
12月	2～3日	空知知的障がい福祉協会新任職員研修会 新十津川町 支援員 3名
	5日	キラキラマーケット出店販売 南幌町 利用者 2名 職員 2名

開催年月日		主たる事業の内容
12月	8日	もちつき 体育館
	15日	忘年会 体育館
	21日	社会福祉法人制度改革に伴う説明会 札幌市 総合施設長 事務員1名
29年		
1月	1日	初詣 南幌神社 総合施設長 利用者15名 職員8名
	12日	新年会（喜寿を祝う会）体育館
	30日	社会福祉法人経営実務セミナー 札幌市 事務員2名
2月	3日	節分（豆まき）
	20～21日	全道施設長会議 札幌市 総合施設長
	23～24日	全国就労センター協議会センター長会議 神奈川県 総合施設長
3月	1～2日	強度行動障害支援者養成研修 札幌市 支援員1名 総合施設長 事務員2名
	3日	南幌養護学校卒業式 総合施設長
	9～10日	北海道社会就労センター長会議 札幌市 総合施設長
	〃日	空知知的障がい福祉協会宿泊幹事会 芦別市 支援員1名
	22日	園内レクリエーション 体育館
毎月実施事業		生活懇談会 買物実習 調理実習 身体血圧測定 嘱託医問診 歯科ブラッシング指導 職員会議 給食会議 支援員会議 避難訓練 防災点検 各種スポーツ 日赤奉仕団・ボランティアとの交流

## 2. 職員の配置

平成29年3月31日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	3		3
サービス管理責任者	2		2
支援員	18	5	23
世話人	1		1
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	27	6	33

#### 4. 利用者の状況

##### (1) 月別在籍者状況

月別 区分		28年										29年			合 計 (人)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
初日 在籍者	入所	49	50	50	50	48	49	49	49	48	48	48	49	587	
	通所	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	13	150	
入所者	入所		1				1						1	3	
	通所												1	1	
退所者	入所					2				1				3	
	通所						1							1	

##### (2) 入退所者状況

新規入所者数	退 所 者 数						
	社 会 復 帰	帰 宅	長 期 入 院	施 設 替 え	死 亡	その他	合 計
入 所		2		1			3
通 所						1	1

### (3) 利用者年齢調

平成 29 年 3 月 31 日現在

年齢区分	入 所			通 所			
	男	女	計	男	女	計	
15歳～19歳							入 所 通 所
20歳～24歳	1		1		1	1	最小年齢 入所 通所
25歳～29歳		2	2	1	1	2	男 21歳9ヶ月・28歳4ヶ月 女 29歳6ヶ月・21歳11ヶ月
30歳～34歳	1	1	2	2	1	3	最高年齢
35歳～39歳	4		4				男 81歳4ヶ月・49歳8ヶ月 女 69歳7ヶ月・63歳7ヶ月
40歳～44歳	11	4	15		1	1	平均年齢
45歳～49歳	7	6	13	1	2	3	男 46歳4ヶ月・35歳5ヶ月 女 49歳6ヶ月・42歳9ヶ月
50歳～54歳		3	3		2	2	男女平均年齢
55歳～59歳		2	2				47歳9ヶ月・40歳6ヶ月
60歳以上	3	4	7		1	1	
計	27	22	49	4	9	13	

### (4) 利用期間調

平成 29 年 3 月 31 日現在

期間区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	1	1	2	1		1
1年～2年未満	1		1			
2年～3年未満	2	1	3		1	1
3年～4年未満						
4年～5年未満						
5年～10年未満	2	1	3	2	1	3
10年以上	21	19	40	1	7	8
合 計	27	22	49	4	9	13
平均利用期間	21年6ヶ月	22年8ヶ月	22年0ヶ月	0年 0ヶ月	2年11ヶ月	9年3ヶ月
最高利用期間	28年11ヶ月	28年11ヶ月		11年11ヶ月	13年11ヶ月	

## (5) 利用者出身市町村調

平成29年3月31日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	1		1			
札幌市 北区	1		1			
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区		1	1			
札幌市豊平区	1		1			
北 広 島 市	2	3	5			
江 別 市	4	5	9	1	1	2
小 樽 市		2	2		1	1
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市	1	1	2			
岩 見 沢 市	2	1	3		3	3
南 幌 町	8		8	3	2	5
栗 山 町		1	1			
長 沼 町	1		1		1	1
新 篠 津 村	1		1			
妹 背 牛 町	1		1			
愛 別 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
計	27	22	49	4	9	13

(6) 障害状況調

平成 29 年 3 月 31 日現在

☆ 疾患状況

障害疾患名	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
聴 力 障 害	1		1			
視 力 障 害	2		1			
四肢・体幹機能障害	2	3	5	1	2	3
言 語 障 害	4	3	7			
て ん か ん	7	6	13	3	4	7
精神科疾患・統合失調症	6	8	14		1	1
高 血 圧	2	2	4	1	1	2
低 血 圧	1		1			
糖 尿 病	1		2	1		1
骨 疾 患	1	3	4			
腎 臓 疾 患	1	1	3	1		1
肝 臓 疾 患	2	1	3			
心 臓 疾 患	2		2			
甲 状 腺 疾 患		2	2			
皮 膚 疾 患	12	11	33		2	2
パーキンソン症候群						
自閉症（傾向）	11	5	16	4	2	6
ダウン症	3	3	6	1	1	2

☆ 知能指数

知能指数(程度)	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
測定不能(全介助を必要)	1	1	2	1	1	2
I Q 3 5 以下(常時介助を必要)	21	12	33	2	1	3
I Q 3 6 ~ 4 9 (介助指導を必要)	2	8	10		3	3
I Q 5 0 以上(一部介助指導必要)	3	1	4	1	4	5
計	27	22	49	4	9	13



(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	1 人	1 人	2 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	1 人	0 人	1 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	3 人	3 人	0 人
面 会 な し	23 人	18 人	41 人
計	27 人	22 人	49 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	2 人	2 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	0 人	2 人	2 人
面 会 な し	0 人	1 人	1 人
計	0 人	5 人	5 人

## (8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	1人	0人	1人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	3人	10人	13人
5～9回	23人	8人	31人
1～4回	0人	4人	4人
なし	0人	0人	0人
計	27人	22人	49人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	2人	2人
10～19回	0人	2人	2人
5～9回	0人	1人	1人
1～4回	0人	0人	0人
なし	0人	0人	0人
計	0人	5人	5人

### (9) 外泊状況調

#### ☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	4 人	人	4 人
20 ~ 29 回	3 人	人	3 人
10 ~ 19 回	4 人	6 人	10 人
5 ~ 9 回	4 人	5 人	9 人
1 ~ 4 回	9 人	9 人	18 人
な し	3 人	5 人	8 人
計	27 人	25 人	52 人

※ 最高外泊回数 48回

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	0 人	0 人	0 人
20 ~ 29 回	0 人	0 人	0 人
10 ~ 19 回	0 人	0 人	0 人
5 ~ 9 回	0 人	2 人	2 人
1 ~ 4 回	0 人	2 人	2 人
な し	0 人	1 人	1 人
計	0 人	5 人	5 人

※ 最高外泊回数 10回

☆ 外泊期間

南幌めぐみ学園

日数	男	女	合計
41日以上	11人	7人	18人
31日～40日	3人	0人	3人
21日～30日	6人	3人	9人
11日～20日	2人	5人	7人
1日～10日	1人	3人	4人
なし	5人	5人	10人
計	28人	23人	51人

※ 合計宿泊数 1,638日

ハイツひまわり

日数	男	女	合計
41日以上	0人	0人	0人
31日～40日	0人	0人	0人
21日～30日	0人	0人	0人
11日～20日	0人	2人	2人
1日～10日	0人	2人	2人
なし	0人	1人	1人
計	0人	5人	5人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

男性	A (男)	B (男)	C (男)	D (男)	計
入院回数	1回	1回	回	回	2回
入院日数	11日	24日	日	日	35日
主病	急性肺炎1回	骨折			

女性	A (女)	B (女)	C (女)	D (女)	計
入院回数	1回	1回	回	回	2回
入院日数	33日	3日	日	日	36日
主病	精神科 服薬調整	大腸検査			

## 5. 短期入所・日中一時支援

### (1) 短期入所利用状況

	28年										29年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	7 (8)	6 (10)	6 (7)	7 (8)	4 (8)	4 (8)	6 (7)	4 (7)	5 (7)	4 (5)	4 (6)	7 (7)	13 (13)	
延日数	74 (72)	72 (82)	64 (70)	71 (69)	59 (66)	51 (69)	59 (72)	48 (69)	56 (60)	47 (63)	48 (52)	49 (69)	698 (813)	

※ 下段 () は昨年度実績

### (2) 日中一時支援利用状況

	28年										29年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
実人員	9 (6)	10 (9)	10 (11)	7 (9)	6 (14)	6 (8)	7 (10)	8 (10)	5 (8)	6 (8)	7 (8)	4 (7)	11 (12)	
延日数	44 (45)	45 (46)	59 (50)	48 (50)	49 (63)	37 (52)	33 (59)	40 (52)	25 (45)	29 (46)	46 (53)	25 (49)	480 (610)	

※ 下段 () は昨年度実績

### (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

区 分	市 町 村								合 計
	岩見沢	江別市	南幌町	長沼町	当麻町	千歳市	小樽市		
短期入所	3 (3)	2 (4)	5 (1)	1 (1)	1 (2)	0 (1)	1 (1)	13 (13)	
日中一時支援	5 (5)	4 (2)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (2)		13 (12)	
実人員	8 (8)	8 (6)	3 (4)	1 (1)	2 (2)	1 (2)		23 (25)	

※ 下段 () は昨年度実績